

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1094.00	2021/7/5
High	1121.00	2021/7/6
Low	1070.00	2021/7/8
Close	1106.50	2021/7/9

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3904.00	2021/7/5
High	3986.00	2021/7/6
Low	3772.00	2021/7/9
Close	3918.00	2021/7/9

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2797.00	2021/7/5
High	2881.00	2021/7/6
Low	2767.00	2021/7/7
Close	2812.00	2021/7/9

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9972.00	2021/7/5
High	10235.00	2021/7/6
Low	9804.00	2021/7/8
Close	9948.00	2021/7/9



ニュースエクスプレス

シバニェ・スティルウォーター、パラジウム不足は3年で解消と予測

BusinessLiveにて、シバニェ・スティルウォーターは80万オンス(24.9トン)にのぼるパラジウム供給不足は2024年には解消し、価格が下がるだろうとしている。

「プラチナに関して我々は非常に強気だが、パラジウムに関しては反対の予測をしている。」とシバニェ・スティルウォーターのCFOであるCharl Keyterの発言が掲載されている。パラジウムに関しては、プラチナの代替とロシアのノリリスク・ニッケルの生産増が需給バランスを崩すと、7月7日のS&P Global Ratings SA in Focusのオンライン会議で語ったということである。シバニェ・スティルウォーターはロジウムとプラチナに関しては強気であるとBusinessLiveはしている。

BusinessLiveによるとパラジウムに関しては、慢性的に不足しているガソリン車触媒に加えノリリスク・ニッケル所有の鉱山の浸水被害、そして昨年のアングロ・アメリカン・プラチナムでのPGM加工問題とで、プラチナに代替する動きが増えている。

自動車触媒における代替でプラチナの今年の需要は20万オンス(6.2トン)増え、更に2025年までに150万オンス(46.7トン)から170万オンス(52.9トン)、グリーンエネルギーの一つである燃料電池の需要も合わせると更に40万オンス(12.4トン)増えるだろうと、Keyter氏。

年間約1万オンス(3.1トン)の供給不足となるロジウム市場は2025年までに18万オンス(5.6トン)の供給不足になる可能性がある。

<https://www.miningmx.com/trending/46724-sibanye-stillwater-forecasts-palladium-supply-deficit-to-vanish-in-three-years/>

中国北京の世界最大の水素製造ステーションに、エア・リキードの技術を採用

仏エア・リキード社の技術を備えた中国の大興水素ステーションは、一日約5トンの水素を製造する世界最大の水素工場である。北京市郊外にある同工場は20万平方メートルの広さを誇るInternational Hydrogen Energy Demonstration Zoneの一部で、ここには今年8月に公開された一般向けのエキシビジョンホールもある。

エア・リキードグループの子会社となるAir Liquide Houpu Hydrogen Equipment Co.Ltd供給の8台の水素ディスペンサーユニットを配備した同工場はBeijing Hypower Energy Technology Ltd.が所有し操業。

大興水素ステーションがその一部となっている20万平方メートルのInternational Hydrogen Energy Demonstration Zoneには、テクノロジー公園、テスト基地、一般に公開されているデモンストレーションゾーンもあり、水素エネルギーに関する研究開発、検証、製造を一体化した画期的なエコシステムの構築を目指している。

<https://www.airliquide.com/mainland-china/air-liquides-technology-chosen-worlds-largest-hydrogen-station-beijing-china>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- プラチナの工業需要は近年大きく伸び、2013年-2019年の間の年平均成長率(CAGR)は6%。2021年のプラチナの工業需要は、リサイクル供給を除くプラチナ需要全体のほぼ40%。経済活動の回復とともにプラチナを使う工業生産も復調し、プラチナ工業需要は前年から25%回復して74.6トンとなる予測。詳しくはプラチナ豆知識「プラチナの多様な工業用途」(2021年7月7日)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2021/07/07>



(@wpicjapan)